



発行所  
常磐南小学校  
電話 46-2005  
FAX 46-2048  
— 第42号 —  
2024.1.26



令和六年一月九日(火)

# 一筆集中

～校内書道コンクール初め会より～



## 「野球しようぜ！」

校長 林 幸康

冬休みに「野球しようぜ！」という直筆のメッセージと共に、大谷翔平選手寄贈のグローブが常磐南小学校に届きました。みんなでキャッチボールができるようにという配慮から、右利き用二つ(高学年用と低学年用)と左利き用一つが梱包されていました。大谷翔平選手と言えば、MLBで二刀流として大活躍している野球選手。昨年、日本代表「侍ジャパン」の一員として、ワールドベースボールクラシック優勝に大きく貢献し、MVPを獲得したことは記憶に新しいのではないのでしょうか。

大谷選手のごときは、野球に限ったことではありません。彼の人生マネジメントにも学ぶべきものがあります。彼が、高校一年生の時に書いた「マンダラチャート」。このチャートには、高校生の彼の目標が細かく設定されています。当時の一番の目標は、「プロ野球八球団からドラフト一位指名」。このように自分の目標を言葉にして、いつも目にすることで、常に目標を意識して過ごしていました。あわせて、彼が花巻東高校時代と日本ハム時代について、成功・失敗したときの心身の状態を振り返っていました。日誌で、目標を設定して一日を振り返り、自己分析することを毎日続けることで、先を見通せるようになり、目標が少しずつ叶っていくことを実感することができるようになったそうです。マンダラチャートや日誌でセルフマネジメントすることが、パフォーマンスを高めるために、欠かせなかったのです。野球に限らず、自分をコントロールするという点において、最大限の努力ができるのが大谷選手のすごさと言えるでしょう。

常磐南小学校のグラウンドでは、大谷選手のグローブを使ってキャッチボールをする常南っ子の姿が見られます。始業式でこのグローブを紹介した時から、常南っ子のワクワクは溢れんばかりでした。グローブとともに届けられた、子どもたちの健やかな成長と夢の実現を願う大谷選手の思い。我々もしっかりと受け止め、目標に向けて地道に努力できる常南っ子を育てていけるよう全力で取り組んでいきたいと決意を新たにしています。

## 校内書き初め会

力を出せたかきぞめかい

一年

はじめてのかきぞめかいで金しようをとりたいたいとおもい、二がつきかられんしゅうをはじめました。かくとときに、とめ・はね・はらいがきれいにかけるように気をつけました。ほんばんは、いままでで一ばんじょうずにかけてうれしかったです。らい年も金しようをとりたいです。



【1年：硬筆「小学校で…」】



【2年：硬筆「岩手の…」】



【3年：「日の光」】

たくさん練習したよ

三年

わたしは、筆で字を書くのが苦手です。そのため、書き初め会に向けてたくさん練習しました。当日は、きちょうでいっぱいになり、太い字を書くことはできませんでした。しかし、学校で教えてもらった部分は、かんぺきにできていたのでうれしかったです。苦手だった習字がすきになりました。来年は力強い字を書いて、入賞を目指したいです。

ごくうれしかったです。来年こそは、金賞をとりたいです。



【4年：「美しい空」】

がんばった書き初め会

五年一組

ぼくは金賞をとるために、習字教室や家でたくさん練習しました。練習のときは「強い決意」の「強」がなかなか上手に書けなくてくやしかったけれど、練習を続けるとだんだん上手になり、うれしかったです。書き初め会では、練習してきた「強」が上手に書けたので金賞がとれるかとも思って少しわくわくしました。結果は、金賞だったので練習を続けてきて良かったと思います。来年もがんばりたいです。

練習の成果が出せた書き初め会

五年二組

一月九日に書き初め会がありました。去年は、銀賞だったので、今年こそ金賞をとるため、今までの練習の成果を筆にのせて書きました。



【6年：「伝統を守る」】

どきどきした書きぞめかい

二年

書きぞめ会のさいしよは、どきどきしました。しゅう中して字を書いているうちに慣れてきて、これまでれんしゅうしてきた力を出すことができました。金しようやぎんしようはとれなかったけれど、上手に書けたことはうれしかったです。これからも、きれいに字を書くようにして、来年の毛ひつでは、しようにとれるようにがんばっていききたいです。

目指せ金賞

四年

ぼくの書き初め会の目ひようは、六年生までに金賞をとることです。今回も、金賞をとるために練習をがんばりました。本番は、とてもきちょうしました。「美しい空」の「美」のはらいと、とめばらいの高さがずれてしまい、少しバランスが悪くなつてしまいました。だから、しんさの結果がちよつと不安でした。それでも、銀賞をとることができました。す

うれしかった書き初め会

六年

わたしは、今までずっと銀賞だったので、今年金賞をとれるように練習しました。冬休みにはお母さんにいろいろなアドバイスをもらい、苦手ないとへんを何度も練習しました。書き初め会当日。最初は少し手がふるえてしまったけれど、兵藤先生やお母さんが教えてくれたことを思い出して、ていねいに書きました。苦手ないとへんもうまく書けたので、すごくうれしかったです。結果は、銀賞でしたが、自分が納得する字が書けたのでよかったです。

結果が分かるまで、どきどきわくわくしていました。そして、今年ついに金賞をとることができました。ぼくは人生で初めての書き初め会金賞だったので、ものすごくうれしかったです。来年も、金賞をとるために練習して腕前を上げていきたいです。

◆書き初め展

【二年】

金賞  
銀賞

【三年】

金賞  
銀賞

【四年】

金賞  
銀賞

【五年一組】

金賞  
銀賞

【五年二組】

金賞  
銀賞

【六年】

金賞  
銀賞

【硬筆の部】

入選

三年  
四年  
五年  
六年

三年マラソン大会

一位を目指せ マラソン大会

三年

三年生のマラソン大会。ぼくは五分二十五秒で走り切り、一位でした。試走のときより、タイムも順位も上がりました。冬休みにサッカーの練習をしながら走りこみをたくさんしたので、体力が近づいたのかなと思います。ゴールが近づいたときにはつかれ切っていて、ぬかされない心配でしたが、なんとか一位でゴールできうれしかったです。来年も一位を目指してがんばりたいです。



【力強く走る3年生】

【三年マラソン大会】

男子の部

女子の部

\*三年

1位  
2位  
3位

六年 家康公検定

家康公検定を終えて

六年

四年生のころ、お母さんが日本の歴史のまんがを買ってくれたことがきっかけで、ぼくは歴史が好きになりました。歴史上の人物が、こんなきつかけで〇〇をしたなど、一人一人に違いがあるところにはまりました。今年度「どうする家康」の大河ドラマを見て、家康について学ぶことができました。だから、家康公検定は正直よゆうだろうと思っていました。意外と細かいところまで問題が出ていてとても難しかったです。これからいろいろなきつかけを通して、好きなことを見つけていきたいです。



【タブレットで家康公検定を受ける6年生】

避難訓練



【昼休み中の避難訓練】

自分の命を守るためには？

六年

今年の一月一日に石川県でとても大きな地震が起き、多くの被害が起きました。もし、岡崎市で大きな地震が起きたら、自分はどういう行動をしたらいいか考えました。今回の避難訓練は、昼休みにありました。近くに先生がいないので、自分で考えて行動しなければいけません。しかし、緊急地震速報が鳴っても走っていたり、しゃべったりしている子がいて、少し残念でした。避難訓練のとき、校長先生は毎回「自分の命は自分で守る」と話をしています。大切な命を守るため、真剣に訓練を行い、みんなで命を守る行動ができるようにしたいです。

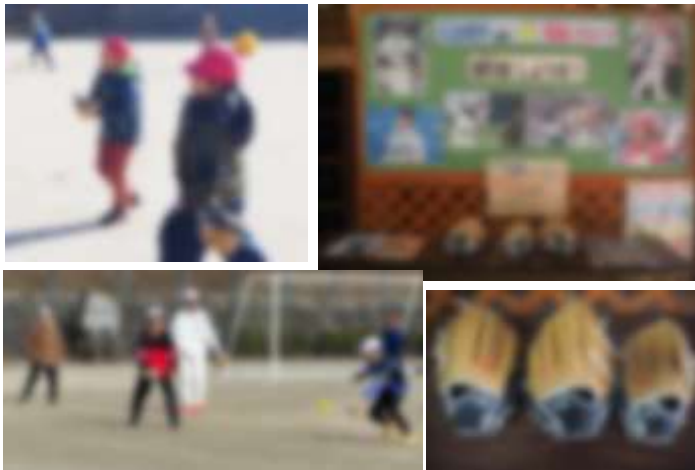
## 大谷選手からの贈り物

## おめでとう

「野球しようぜー！」

大谷翔平選手からのメッセージと共に、常磐南小学校にも三つのグローブが届きました。まずは、各学級でお披露目会。その後、曜日を決めて学級ごとに使うことになりました。さて、子どもたちの反応は…

- ・キャッチボール、楽しいなあ。
- ・かっこいい！サイン入っている！
- ・早く使いたいなあ。
- ・大谷のグローブの型って、こうなんだ。捕りやすいなあ。
- ・公園でも使いたいなあ。



◆税に関する作品

岡崎市教育委員会賞

六年

## お知らせ

### 【二月】

- 社教役員会…二日(金)
- ときなん祭…十六日(金)
- \* 四ヶ年クラブ発表会
- 学校評議員会…十六日(金)
- PTA役員会…十六日(金)
- 感謝の会…二十六日(月)

### 【三月】

- 見守り隊感謝の会…七日(木)
- 卒業を祝う会…八日(金)
- 卒業式…十九日(火)
- 修了式…二十二日(金)

### 【四月】

- 入学式準備(新六年生) …三日(水)
- 令和六年度入学式…四日(木)

## 常雨の心

過去から未来へ

五年二組担任

教師になって子どもたちと毎日生活している中で、ふと自分の小学生時代を思い出した。

今でこそ専門教科は算数であるが、実は小学生から高校生まで、算数よりも歴史が好きだった。

将来の夢は歴史家。図書室で借りていたのは、いつも伝記。読書感想文は「ベートーヴェン」で書き、夏休みの自由研究は全国の城を調べ、図工の作品はすべて歴史に関係するものを作った。家族もみんな歴史が大好きで、旅行は必ず城巡りであった。とにかく、小学生の私は「歴史大好き少年」だった。

ある時、はつとさせられる偉人の言葉に出会った。それはローマ帝国の哲学者であるセネカの「難しいからやろうとしないのではない。やろうとしないから難しくなるのだ。」という言葉だ。ついつい後回しにしたくなることや諦めたくなることでも、「まずはやってみる」。難しそうに感じても、案外大したことないかもしれない。意外と簡単にできることかもしれない。どんなことにもまずは挑戦してみるこの大切さを小学生ながらに感じたのを覚えている。

二〇二四年は初心にかえって挑戦の年にした。みなさんはどんな年になりたいですか？

29	28	27	26	25	24	23	20	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木		
全校遊び			感謝の会 クラブ(最終)			天皇誕生日		力いっぱい検定		委員会			ときなん祭(クラブ発表) 一〜三年 五時間授業 PTA役員会			一〜三年 五時間授業	クラブ	振替休日	建国記念の日		読み聞かせ			読書週間 16日まで	月曜集会 クラブ	常磐中入学説明会		社教役員会	学力テスト 大なわ大会	



●13日(火)クラブ活動、16日(金)ときなん祭のため、1年から3年は14時45分に下校します